

令和2年度介護理解促進福祉協力校事業
実施報告書

＜介護の魅力発見！＞

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会

目 次

はじめに	1
1 介護理解促進福祉協力校事業とは	2
2 令和2年度介護理解促進福祉協力校での実施結果（五十音順）	
（1）学校法人さくら学園 安城生活福祉高等専修学校（安城市）	4
（2）愛知県立岡崎東高等学校（岡崎市）	6
（3）学校法人名古屋石田学園 星城高等学校（豊明市）	8
（4）学校法人豊川閣妙厳寺豊川学園 豊川高等学校（豊川市）	10
（5）愛知県立尾西高等学校（一宮市）	12
3 アンケート結果（令和2年度協力校）	14
4 継続支援校での実施結果	18
5 アンケート結果（継続支援校）	20
6 講師の総評	23
7 まとめ	24

は じ め に

急速な少子高齢化の進行に伴い、介護サービスに対するニーズが高まっており、介護を担う人材の確保は大きな課題となっています。介護人材の確保には、“介護職”が、次代を担う若者からさらに選ばれる職業となるよう、すそ野を広げていく必要がありますが、そのためには、若者が実際に「介護の仕事」に触れて「介護の魅力」を感じていただくとともに、そうした「介護の魅力」を友人や家族、さらには地域住民の皆さんに伝えていくことも重要だと考えます。

そこで、高校生の皆さんに、介護体験等を通じて介護の理解を深めていただき、介護の魅力を発信していただく趣旨のもと「介護理解促進福祉協力校事業」を、愛知県からの委託を受け平成 29 年度から実施しております。

今年度についても、県内の高等学校等から新たな 5 校を介護理解促進福祉協力校として指定し、介護体験を中心とした取組を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、生徒が介護事業所で実際の介護体験を行うことが困難な状況となったため、従来の内容を変更し、介護施設職員の皆様などに協力校へ出向いていただき、生徒に介護の魅力を伝えていただく介護出前講座(3 回シリーズ)を実施しました。また、前年度の介護理解促進福祉協力校には、継続支援としてフォローアップ学習会に外部講師を派遣し、活動の定着を図りました。

このたび、こうした活動状況を「令和 2 年度介護理解促進福祉協力校事業実施報告書」としてまとめましたので、高校生や地域の皆さんに、介護への関心を高めていただく一助としてご活用いただければ幸いです。

令和 3 年 3 月

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会
地 域 福 祉 部

1 介護理解促進福祉協力校事業とは

(1) 目 的

本事業は、県内の高等学校等を介護理解促進福祉協力校(以下「協力校」という。)として指定し、この協力校において、介護教室の実施や学校全体及び地域等に向けた普及活動等の各種の取組を進めていただくことで、協力校の生徒に対して介護就労への理解を促し、関心を高めていただくきっかけとするものです。

また、協力校における取組の継続により、地域における介護に対する肯定的なイメージの醸成を図ることも目的としています。

(2) 令和2年度事業の内容

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、学校休校に伴う正規授業カリキュラムの組み直しによる影響や、高齢者との濃厚接触による感染拡大への懸念等により、介護施設での介護体験の受入れが困難になったことから、下記のとおり事業内容を変更し実施しました。

① 介護出前講座の実施

校内で、参加する生徒を選定いただき、協力校に施設職員や専門外部講師を派遣し、介護の仕事についての講義や介護職の魅力についての講話を通して、生徒に対して、介護就労への関心を高めていきます。

【第1回】

介護の仕事の概要・魅力に係る講義の実施

【第2回】

介護施設職員を学校に招き、映像等を交え、介護の仕事の実際や、介護職の魅力等に関する講話を開催

【第3回】

1回・2回の内容を踏まえ、今後の超高齢社会への対応などを含め、総合的な講義とグループワークの実施

② 普及・啓発活動

生徒による校内掲示物(壁新聞)の作成や報告会での発表、ホームページへの掲載等

③ 「介護の仕事体験」実践テキストの作成・配布

協力校以外でも、「介護」に関する学習等の際に使用できるよう、「介護の仕事体験」実践テキストを作成・製本し、全高等学校へ配布

④ 実施報告書の作成・配布

事業終了後、以下の内容を含む実施報告書を作成します。

- ・介護出前講座の実施結果
- ・継続支援校での実施結果

- ・参加した生徒のアンケート結果
- ・講師の講評
- ・事業を振り返っての考察と今後の課題
- ・その他

（３）継続支援（フォローアップ学習会）の実施

協力校における取組の継続により、地域での介護に対する肯定的なイメージの醸成等を図るため、昨年度の協力校に対して、専門講師をフォローアップ学習会に派遣し、学校での自主的な活動として実施される介護事業所でのボランティア活動等を支援することで、活動の定着化を図ります。

（４）これまでの協力校指定状況

○平成 29 年度

学校法人安城学園安城学園高等学校（安城市）、愛知県立瀬戸北総合高等学校（瀬戸市）、愛知県立知多翔洋高等学校（知多市）、愛知県立東海商業高等学校（東海市）、ルネサンス・アカデミー株式会社ルネサンス豊田高等学校（豊田市）

○平成 30 年度

学校法人桜花学園桜花学園高等学校（名古屋市）、学校法人愛知享栄学園栄徳高等学校（長久手市）、愛知県立幸田高等学校（幸田町）、学校法人中部大学中部大学春日丘高等学校（春日井市）、愛知県立半田農業高等学校（半田市）

○令和元年度

愛知県立一色高等学校（西尾市）、愛知県立稲沢高等学校（稲沢市）、学校法人椋山女学園椋山女学園高等学校（名古屋市）、愛知県立豊橋商業高等学校（豊橋市）、愛知県立美和高等学校（あま市）

○令和 2 年度

学校法人さくら学園安城生活福祉高等専修学校（安城市）、愛知県立岡崎東高等学校（岡崎市）、学校法人名古屋石田学園星城高等学校（豊明市）、学校法人豊川閣妙厳寺豊川学園豊川高等学校（豊川市）、愛知県立尾西高等学校（一宮市）



2 令和2年度介護理解促進福祉協力校での実施結果

(1) 学校法人さくら学園 安城生活福祉高等専修学校（安城市）

① 介護出前講座の実施

【第1回】

日時：令和2年10月8日(木) 午後3時～午後4時30分

場所：安城生活福祉高等専修学校

参加生徒数：32名（男子3名、女子29名）

●講義内容

- ・介護の仕事を理解しよう
- ・介護理解促進福祉協力校事業について

講師：日本福祉大学 大林由美子 氏



【第2回】

日時：令和2年11月27日(金) 午後1時～午後2時30分

場所：安城生活福祉高等専修学校

参加生徒数：32名（男子3名、女子29名）

●講義内容

- ・介護の仕事を理解しよう<介護現場より>

講師：特別養護老人ホーム安寿の郷ホーム

生活相談員兼介護部部長補佐

高田真由美 氏



【第3回】

日時：令和3年1月21日(木) 午後3時～午後4時30分

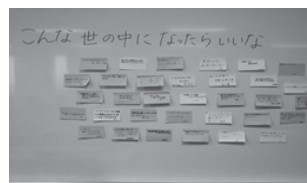
場所：安城生活福祉高等専修学校

参加生徒数：31名（男子3名、女子28名）

●講義内容

- ・もっとみんなで介護の仕事を理解しよう
(グループワーク)
- ・普及啓発について

講師：日本福祉大学 大林由美子 氏



発表された生徒の意見

② 介護出前講座を受講した感想

【生徒の感想】

・私はこの出前講座のおかげで、介護の仕事のイメージ等がとても変わりました。最初は介護の仕事は、大変で、ただお年寄りの方の世話をするだけの仕事だと思ったけど、この出前講座を通してやりがいのある仕事があると分かりました。

・介護に対するマイナスのイメージがなくなるくらい、介護の楽しさや魅力に気づくことができる良い機会になりました。私もその人が、その人らしく生活できるような支援をしていける介護福祉士を目指していきたいです。

・今回出前講座を通して学んだことは、人のQOLをどれだけ自分の力で上げられるかでした。介護への意気込みが高まりました。

グループワークでは、付せんを渡す時も、3年生の先輩は両手で渡していたので、自分も見習って両手で渡しました。この講座は、将来、介護体験をする時の練習の場だと感じました。

・自分の将来の夢が介護福祉士で、介護の知識を詳しく知りたいと思っていたので、今回講座を受けて、さらに介護の事を学びたいと思いました。

また、このような講座が開催される際は、参加したいと思っています。

・今回のお話を聞いて介護の仕事内容、介護施設の中で行われていることがわかりました。介護の仕事は今までのイメージとは変わって、楽しそうなイメージになり、施設の中で行われている行事など職員の方も利用者の方も一緒に協力しているんだなと思いました。今回の講座を参考にこれからの授業に活かして行きたいです。

・出前講座を受けて、最初より介護や福祉についてのイメージが変わり、介護は楽しいことが分かりました。私は出前講座を受けて、いろいろな介護や福祉のことがたくさん分かったので将来に活かしていけたらいいなと思いました。

・出前講座を受ける前とは違って、介護の知識や、施設等がどういう風になっているのか、介護福祉士の人が何を目標にしているのかが分かり、とても勉強になったと思います。授業で受けている内容以外の事を知ることができたので、これからの授業内でも活かしていきたいです。ボランティアで活動する時には、この講座で習ったことを参考にします。

・介護現場について、一から丁寧に教えていただき、気づかされたことや、考えさせられたことが何度かありました。自分がいざ、介護現場に立った時にどうすればいいのか、少し不安だったのが、お話を聞いて自信を持てたように感じました。もっと高齢者の方とたくさん話し、笑顔で接して行けたらいいなと思いました。

・出前講座に参加して感じたことは、自分は4月から介護施設に就職するので、出前講座で聞いた話を自分自身に役立てるようにしていきたいと思います。私は将来、利用者の方に信頼されるような介護士になりたいと思っています。自分なりにコツコツ成長できたらいいなと思います。

・出前講座に参加して、実際に働いている人の話を聞いて、色々介護について知って今後の将来の役に立つことが分かりました。暗いイメージだった介護職に対して、出前講座を聞いてからは明るく、やりがいのある楽しそうなイメージに変わりました。私は、4月から介護の仕事に就職します。今までの実習で学んできたこと、出前講座で教えていただいた事を忘れずに今後も頑張っていきたいと思います。

【担当教諭の感想】

コロナで外部実習が中止になり、どのように生徒への介護現場の良さや体験の良さを伝えたらよいか、試行錯誤をしていた時の出前講座だったため、とても有りがたいお話でした。また、来年も引き続きよろしく願います。

③ 普及啓発活動

・令和3年の秋に報告会を開催予定

(2) 愛知県立岡崎東高等学校（岡崎市）

① 介護出前講座の実施

【第1回】

日時：令和2年12月8日(火) 午後2時25分～午後3時55分

場所：愛知県立岡崎東高等学校

参加生徒数：8名（女子8名）

●講義内容

- ・介護の仕事を理解しよう
- ・介護理解促進福祉協力校事業について

講師：日本福祉大学 大林由美子 氏



【第2回】

日時：令和2年12月15日(火) 午後2時25分～午後3時55分

場所：愛知県立岡崎東高等学校

参加生徒数：8名（女子8名）

●講義内容

- ・介護を考えよう＜介護現場より＞

講師：特別養護老人ホームくわがい

介護主任 小林舞子 氏

- ・今後の日程について



【第3回】

日時：令和2年12月22日(火) 午前11時50分～午後1時20分

場所：愛知県立岡崎東高等学校

参加生徒数：8名（女子8名）

●講義内容

- ・もっと介護の仕事を理解しよう
(グループワーク)

- ・普及啓発について

講師：日本福祉大学 大林由美子 氏



② 介護出前講座を受講した感想

【生徒の感想】

・実際に施設で働いている方の話を聞くことができたので、将来の仕事についてのイメージが湧くようになりました。

・資料もとても見やすく、講座内容も分かりやすく、良い経験となりました。特に3回目の講座の内容はグループワークだったので、みんなの意見を聞くことができ、新たな発見にもつながったので良い経験となりました。

・知らなかったことがたくさん知れたので、いい機会になりました。将来について、深くは考えたことがなかったけど、今回、話を聞いて介護の仕事に就くのもいいなと思いました。すぐくためになりました。ありがとうございます。

・介護についてのイメージは、やりがいだったり、思いやりだったりのイメージがとても強いけれど、実態としては、給料が安かったりとか、体に対する負担が多く、精神的にも大変なので、心のゆとりがなくなっていくのかなと思いました。今後その現状を変えていくために、国がもう少し協力的になって働きやすい環境が整っていくといいと思いました。

・三日間、貴重なお話を伺うことができ、将来の自分に少しでも役立てたいと思いました。また、人に関わる、助ける、人を看取るといった人生に関わる良い職業なので、私も将来、人を笑顔にし「助ける」ということを大事にできるような“看護師”になりたいと強く思いました。

・3回の出前講座を通じて、介護のイメージが大きく変わりました。今までは、介護や福祉の仕事はすごく辛くて、給料が安いというイメージだったけど、とてもやりがいがあって、楽しい仕事なんだと感じることができました。

【担当教諭の感想】

・出前講座ありがとうございました。

実際の現場の方からの話を聞くことにより、生徒の介護への興味・関心は高まったと思います。

なお、実際の事例や写真、映像があると、生徒にとってはより理解が深まると感じました。

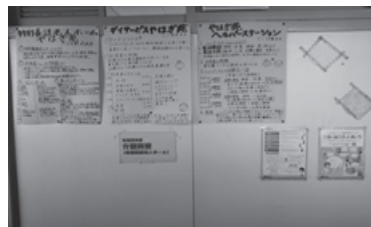
③ 普及啓発活動

・全校生徒に対する報告会の実施

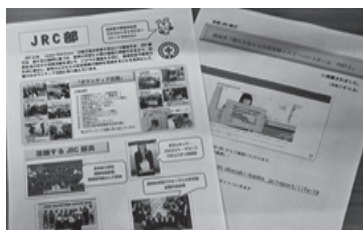
令和3年2月9日（火）に、総合学科授業発表会を開催し、出前講座の報告を行った。

この発表会は、例年、生徒参加のもと体育館で実施していたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、事前に発表内容をビデオ収録し、発表会当日に、生徒が各教室でビデオ視聴した。

・校内発表



・クラブ活動の広報誌の発刊



(3) 学校法人名古屋石田学園 星城高等学校（豊明市）

① 介護出前講座の実施

【第1回】

日時：令和2年12月3日(木) 午後4時～午後5時30分

場所：星城高等学校

参加生徒数：21名（男子18名、女子3名）

●講義内容

- ・もっと介護の仕事を理解しよう
- ・介護理解促進福祉協力校事業について

講師：株式会社経営志援 塚本聡美 氏



【第2回】

日時：令和3年1月15日(金) 午後4時～午後5時30分

場所：星城高等学校

参加生徒数：21名（男子18名、女子3名）

●講義内容

- ・介護を考えよう＜介護現場より＞

講師：特別養護老人ホーム勅使苑

主任介護職員 齊藤高広 氏

介護職員 松尾 茜 氏



【第3回】

日時：令和3年1月25日(月) 午後4時～午後5時30分

場所：星城高等学校

参加生徒数：20名（男子17名、女子3名）

●講義内容

- ・もっと介護の仕事を理解しよう
(グループワーク)
- ・広報啓発について

講師：特定非営利活動法人和来 中村直子 氏



② 介護出前講座を受講した感想

【生徒の感想】

・講師は、介護の仕事の良いところだけを話すと聞いていましたが、悪いところ、辛いところ、全てを聞いたので、自分自身にもためになりました。将来自分一人で生活できなくなったとしても安心して介護施設に入れると思いました。

もし自分が就職する所が介護施設になった場合、教えてもらったことを活かし、話すときも常に笑顔を忘れずに、一生懸命行う様にします。また、介護施設でなくても、笑顔、マナーなど教えてもらったことを実践して行きます。

・もともとは、介護はすごく大変なイメージがあって、自分は将来このような仕事に就くことは無いと思っていましたが、人の役に立つ仕事や、人の笑顔を見たり、人から「ありがとう」を受け取ったりと非常にやりがいがある仕事と分かり、興味を持ちました。社会の役に立つ素晴らしさと、辛い現実を受け止める大変さを知ることができたので今後の進路決定に生かしていこうと思います。

・まず現場の方々にお越しいただいたことはとても感謝しています。介護という仕事を難しく説明されても分からないので、今、介護という仕事をしている人たちの裏表のないリアルな話が聞けてとても自分のためになりました。

介護はもちろん辛いだろうし、給料もあまり高くないですが、それよりも自分という人間を成長させてくれたり、人生を楽しくしてくれる仕事だなと思いました。

・出前講座を受ける前と後では考え方が変わりました。正直、きついと思う仕事を続けられる理由なんてないと思っていましたが、感謝が生きがいになっているのは自分も言われたら頑張ろうと思えるし、気持ちが分かったと思います。どうすれば、喜んでもらえるのかを日々考えている人達の話聞いて、周りの人の役に立ちたいと思って仕事を続けていて尊敬します。

出前講座で学んだ事を生かして、周りの人のためにと考えて生活をするよう心掛けで行きたいと思います。

・介護が大変で耐えることの多い職場だと改めて思いました。しかし、その大変さの中に楽しさ、やりがいを感じて行っている人がいて、本当にすごいことだなと思いました。一人一人、笑顔にできる「力」は、自分が今力を入れている野球においてもとても大切なことだから、すごく勉強になりました。今後進路を考えるうえで、この福祉、介護も視野に入れていいと思います。

【担当教諭の感想】

新型コロナウイルス感染症予防の観点からも、生徒数、講義時間とも良かったと感じました。

専門家の意見を伺い、生徒たちは介護に関する具体的な取組を学ぶことができたと思います。

③ 普及啓発活動

- ・ホームページに出前講座開催状況を掲載
- ・SGL*活動によるボランティア活動の推進
- ・付随する取組として車椅子体験会の実施

*SGL (Super Global Leader) 活動

高等学校が市町村や産業界などと協働してコンソーシアムを構築し、地域課題解決等の探究的な学びを実現する取組



(4) 学校法人豊川閣妙厳寺豊川学園 豊川高等学校 (豊川市)

① 介護出前講座の実施

【第1回】

日時：令和2年10月12日(月) 午後5時～午後6時30分

場所：豊川高等学校

参加生徒数：21名 (男子1名、女子20名)

●講義内容

- ・介護の仕事を理解しよう
- ・介護理解促進福祉協力校事業について

講師：日本福祉大学 大林由美子 氏



【第2回】

日時：令和2年11月2日(月) 午後5時～午後6時30分

場所：豊川高等学校

参加生徒数 21名 (男子1名・女子20名)

●講義の内容

- ・介護を考えよう<介護の現場より>
- ・車いすの体験

講師：特別養護老人ホーム愛厚ホーム豊川苑

生活相談主任 小杉英夫 氏

介護主査 山本りか 氏



【第3回】

日時：令和2年11月16日(月) 午後5時～午後6時30分

場所：豊川高等学校

参加生徒数：21名 (男子1名、女子20名)

●講義の内容

- ・もっと介護の仕事を理解しよう
(グループワーク)
- ・普及啓発について

講師：日本福祉大学 大林由美子 氏



② 介護出前講座を受講した感想

【生徒の感想】

・実際に老人ホームに行ったことがないので、介護についての内容が分かって良かったです。

・車イスに乗ったり、押したりする機会は滅多にないので良い経験になりました。

・貴重な話が聞けてためになりました。福祉系の仕事に就かなくても、どこかで困っている人を見つけたら、率先して手助けしたいなと思いました。

・話を聞くだけの講座は、少し眠くなったりするけど、グループで話し合って発表すると楽しいし、こんな意見もあるんだなと色々なことが分かって良かったです。

・介護に前向きなイメージはなかったけれど、本当は幸せを感じられることがたくさんあるんだなと思いました。

・介護の仕事はとても給料が低いイメージがあったけれど、給料もアップしていて将来性も感じられる仕事だと思ったし、とても大切なお仕事、なくてはならないお仕事だと思いました。

・介護についてある程度知った気でいたのですが、自分が知っていたことは、まだまだほんの一部で、今回はそのことに気づくことができ、そして新たに介護について知ることができて良かったです。

・少子高齢化が進んでいる中で、私たちが積極的に行動していかないといけないんだと感じました。

・私たちが貢献できる未来を創るために今、最も必要とされているお仕事だと思う。

・今回の機会を通じてもっと将来のことに目を向け、福祉についても考えてみようと思えました。とてもいい体験でした。

【担当教諭の感想】

三回に渡り、非常に勉強になる講座を開いていただきありがとうございました。

私自身も不勉強な部分が多々あり、今後の進路指導に役立てられそうです。少しでも介護や福祉方面の進路を目指す良いきっかけになったと思います。本当にありがとうございました。

③ 普及啓発活動

・令和3年の夏に活動報告会を開催予定

○事業に参加した「インターアクトクラブ」の紹介

私たちインターアクトクラブは、豊川ロータリークラブのご支援のもと奉仕活動、国際交流を中心に行っている部活動です。今回、部員の発案で使われていない文房具を回収し恵まれない国に贈る活動を行いました。全校生徒、保護者、教職員、豊川ロータリークラブに呼びかけ、2,270品の文房具を回収することができました。この文房具はN G Oを通して東南アジア方面の恵まれない子どもたちに贈られる予定です。



(5) 愛知県立尾西高等学校（一宮市）

① 介護出前講座の実施

【第1回】

日時：令和2年11月4日(水) 午後3時45分～午後5時15分

場所：愛知県立尾西高等学校

参加生徒数：5名（男子2名、女子3名）

●講義内容

- ・もっと介護の仕事を知ってみよう
- ・介護理解促進福祉協力校事業について

講師：特定非営利活動法人和来 中村直子 氏



【第2回】

日時：令和2年11月6日(金) 午後3時45分～午後5時15分

場所：愛知県立尾西高等学校

参加生徒数5名(男子2名、女子3名)

●講義内容

- ・介護を考えよう<介護現場より>

講師：特別養護老人ホーム朝日荘

生活相談員 山村美津枝 氏

生活相談員 稲垣 涼子 氏



【第3回】

日時：令和2年11月10日(火) 午後3時45分～午後5時15分

場所：愛知県立尾西高等学校

参加生徒数：5名（男子2名、女子3名）

●講義内容

- ・もっと介護の仕事を理解しよう
(グループワーク)

- ・普及啓発について

講師：特定非営利活動法人和来 中村直子 氏



② 介護出前講座を受講した感想

【生徒の感想】

・今回、色々な話を聞いて自分が想像していたものと真逆だなと思いました。

知らなかったこともたくさん知ることができまし、介護についての話が聞けて良かったです。

また施設に行く機会があったら、3回の講座で聞いたことを思い出して、高齢の方と関わることが出来るといいと思います。

・お年寄りとのコミュニケーションの大切さを知ることができて、良かったです。

・実際に老人ホームに行くのが二年生の夏休みと聞いたので、行けたらがんばりたいです。

【担当教諭の感想】

生徒から、介護について理解が深まったという声があり、開催出来て良かったです。

本校は介護職の求人も多く来るため、就職先を選ぶ際の参考になるのではないかと思います。

実際に施設へ訪問させていただける機会を作っていただけると、講座での学習内容もより深まるのではないかと思います。

今回はありがとうございました。

③ 普及啓発活動

- ・ホームページに介護出前講座の内容を掲載予定

○事業に参加した「JRC部」の紹介

私たちJRC部は、2年生9名、1年生9名の計18名で活動しています。活動の内容は、校内でペットボトルのキャップを集めたり、ベルマーク集計をしたりしています。校外では、障害者支援施設の愛厚はなのきの里への訪問や、あしなが募金などの活動をしています。

あしなが募金では、多くの方に募金を協力して貰うために、沢山声かけやビラ配りをしました。

愛厚はなのきの里への訪問では、利用者さんとのコミュニケーションを大事にしながら取り組んでいます。

皆さんが飲んでいるペットボトルのキャップは、リサイクルされ、その収益で貧しい国の子どもたちのワクチンなどに使われています。是非、分別にご協力をお願いします。

私たちは、日々沢山の方を笑顔にできるように頑張っています。



*JRC (Junior Red Cross)

青少年赤十字のこと。

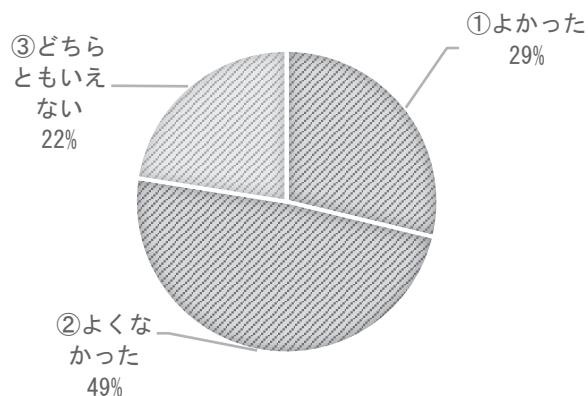
青少年赤十字は、児童・生徒が赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、さまざまな活動を学校教育の中で展開している。

3 アンケート結果（令和2年度協力校）

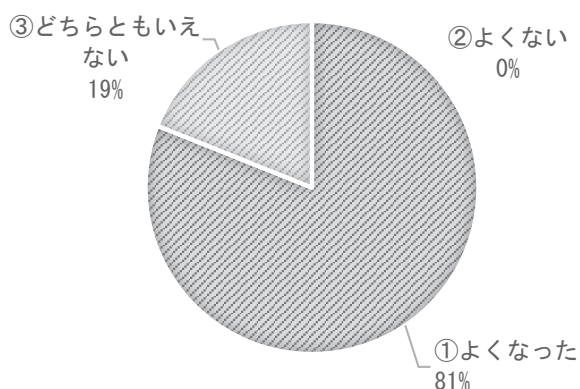
(1) 生徒アンケート結果 回答数5校 80名

《アンケート項目》

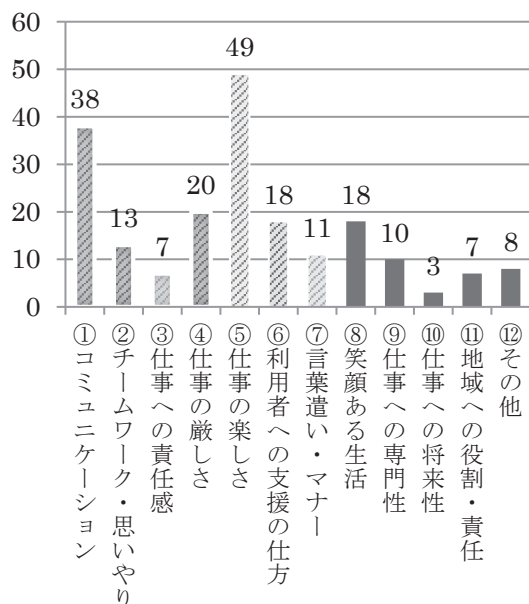
○ 介護出前講座の実施以前に持っていた介護現場のイメージは？



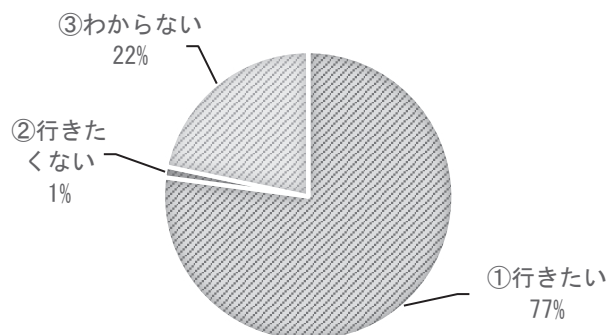
○ 介護出前講座を受講してからの介護現場のイメージは？



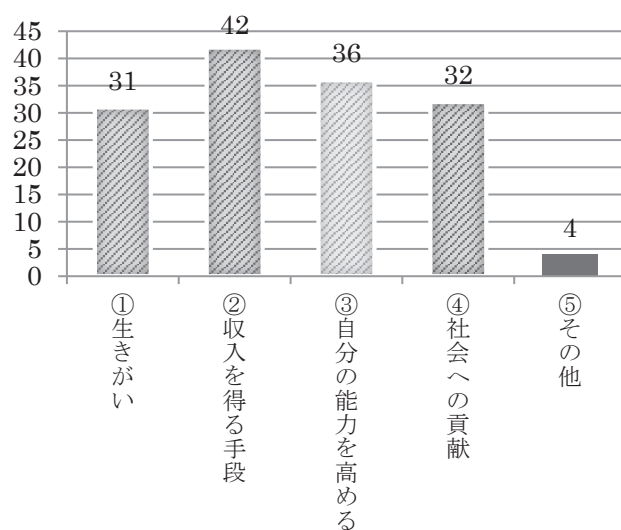
○ 介護出前講座でどんなことを主に学びましたか。（複数回答）



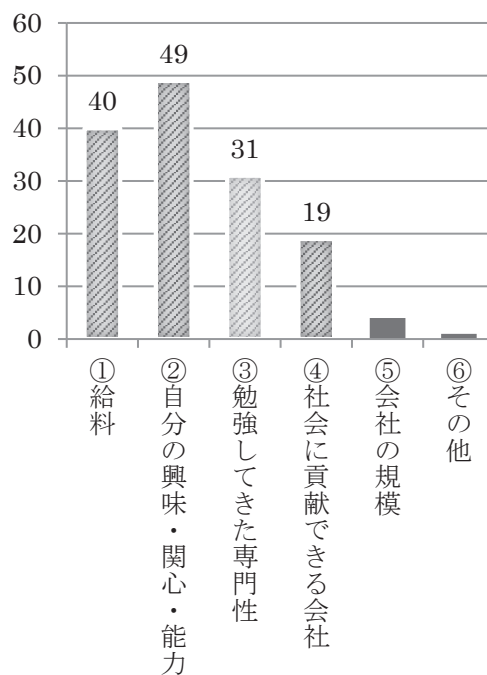
○ 機会があれば、老人福祉施設に介護体験やボランティアに行きたいですか。



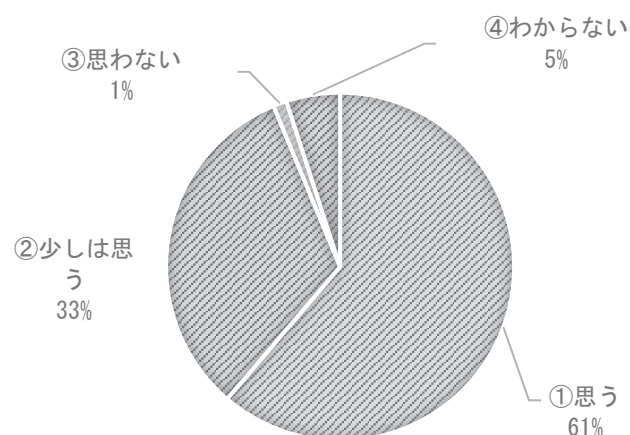
○ 「働く」ということは、ということだと考えますか。（複数回答）



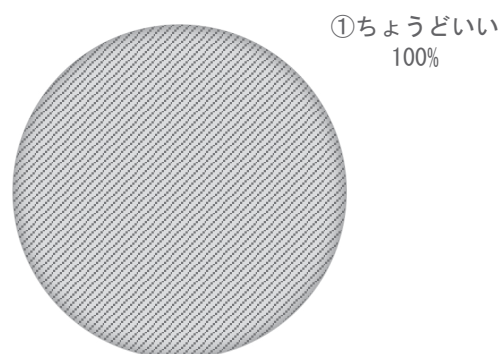
○ 将来において就職先決定に重要なポイントは何ですか。（複数回答）



○ 今回の介護出前講座は、自分の進路決定に役に立つと思いますか。

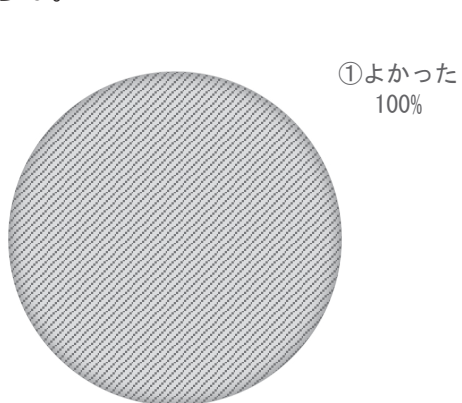


○ 介護出前講座における講義時間の長さは、いかがだったでしょうか。

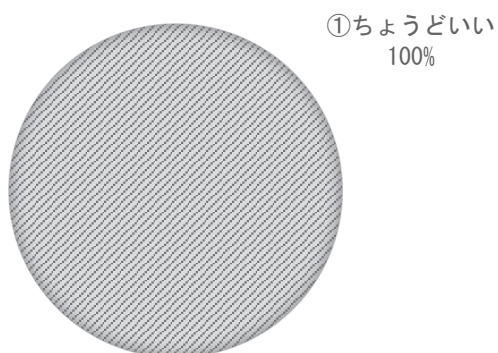


(2) 学校アンケート結果 回答数 5校
《アンケート項目》

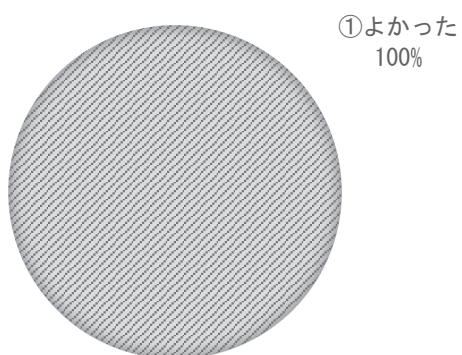
○ 介護出前講座を実施して全般的にいかがだったでしょうか。



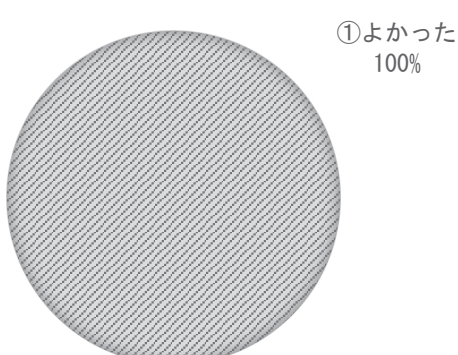
○ 介護出前講座での参加生徒数は、いかがだったでしょうか。



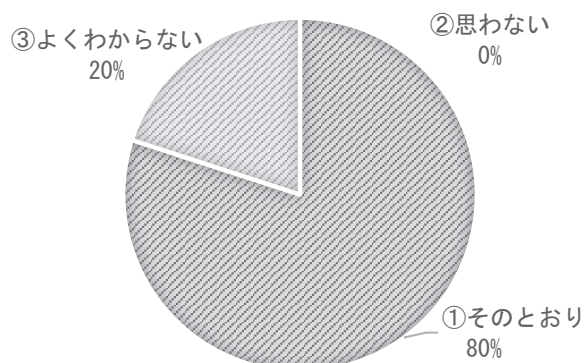
○ 介護出前講座に対し生徒の取り組む姿勢はいかがだったでしょうか。



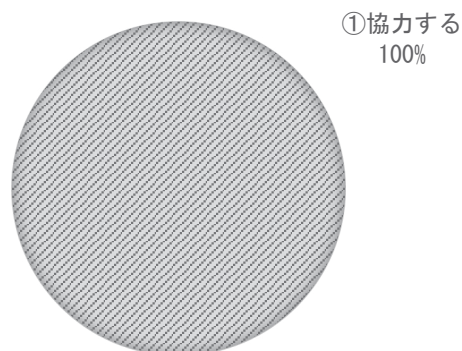
○ 介護出前講座の内容はいかがだったでしょうか。



○介護出前講座の実施は、生徒に対して福祉・介護就労への理解を促し、関心を高めるきっかけとなったでしょうか。

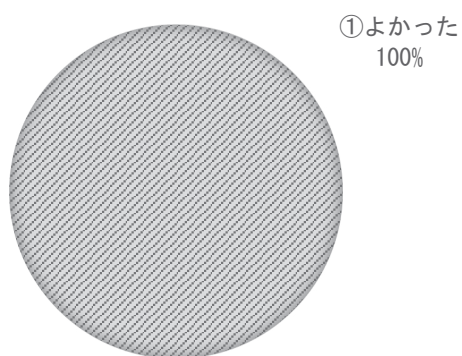


○介護出前講座の要請があれば今後も協力していただけるでしょうか。

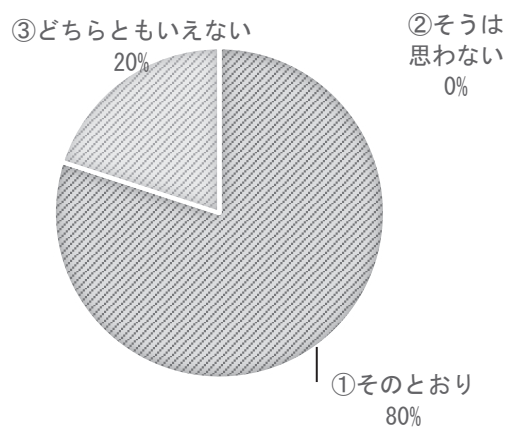


(3) 施設講師アンケート結果 回答数 5施設
《アンケート項目》

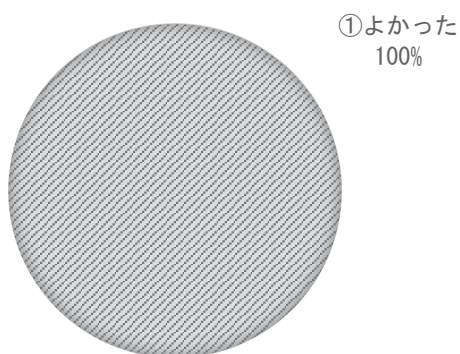
○介護出前講座を実施していかがだったでしょうか



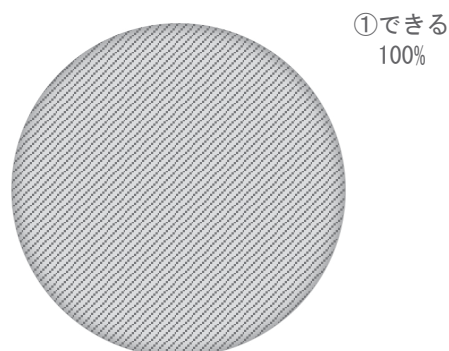
○介護出前講座は、生徒に対して福祉・介護の仕事への理解を促し、関心を高めるきっかけとなったでしょうか。



○生徒の取り組む姿勢はいかがだったでしょうか



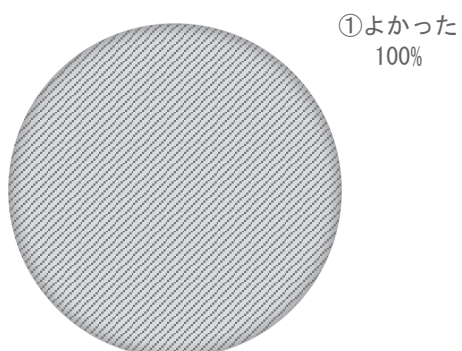
○来年度コロナウイルスが終息すれば、高校生を夏休み等に体験学習の受け入れはできるでしょうか。



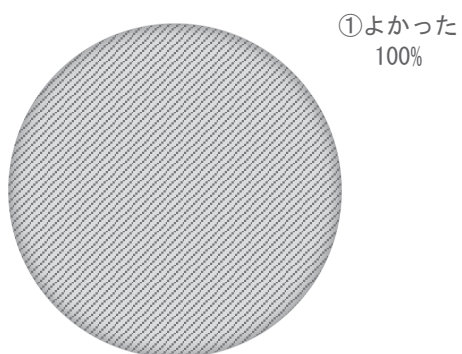
(4) 講師アンケート結果 回答数3名

《アンケート項目》

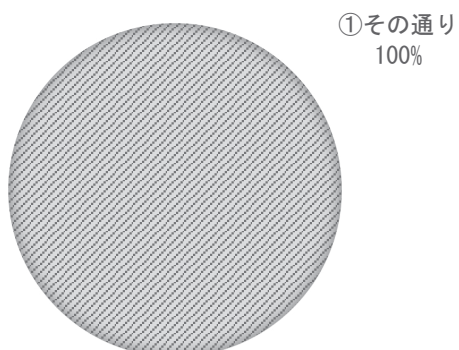
○介護出前講座を実施して、全般的にいかがでしたか。



○生徒の取り組む姿勢はいかがでしたか。



○介護出前講座は生徒に対して福祉・介護就労への理解を促し、関心を高めるきっかけとなったでしょうか。



4 継続支援校での実施結果

(1) 実施内容

昨年度の協力校に対して専門外部講師を派遣し、フォローアップ学習会を実施することで、その後の、高齢者福祉施設でのボランティア活動等の関連した取組を支援し、活動の定着化を図っています。

＜学習会の内容＞ ①介護理解促進福祉協力校事業について

②介護の仕事を理解しよう

(グループワーク)

③アンケートについて

(2) 実施校（昨年度協力校）

- ・愛知県立一色高等学校（西尾市）
- ・愛知県立稲沢高等学校（稲沢市）
- ・学校法人椋山女学園椋山女学園高等学校（名古屋市）
- ・愛知県立豊橋商業高等学校（豊橋市）
- ・愛知県立美和高等学校（あま市）

(3) 継続事業（フォローアップ学習会）の実施状況

学 校 名	日 時 / 講 師	参 加 生徒数
一色高等学校 (西尾市)	令和2年12月17日(木) 午後1時30分～午後3時 講師 ㈱経営志援 塚本聡美氏	4名
稲沢高等学校 (稲沢市)	令和2年10月27日(火) 午後4時～午後5時30分 講師 ㈱経営志援 塚本聡美氏	8名
椋山女学園高等学校 (名古屋市)	個人学習(令和3年2月8日～26日) 講師 日本福祉大学 大林由美子氏	5名
豊橋商業高等学校 (豊橋市)	令和2年11月13日(金) 午後4時～午後5時30分 講師 日本福祉大学 大林由美子氏	22名
美和高等学校 (あま市)	令和2年11月17日(火) 午後4時～午後5時30分 講師 日本福祉大学 大林由美子氏	11名

*新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今年度、全国規模の大会中止や、介護施設への訪問ができなくなり、各校の活動についても自粛を余儀なくされましたが、状況を見ながら、今後取組が再開されていく予定です。

*椋山女学園高等学校については、国の緊急事態宣言が発令され、学校内への立ち入りが制限されたため、個人学習（ワークシートの提出）に切り替えて実施しました。

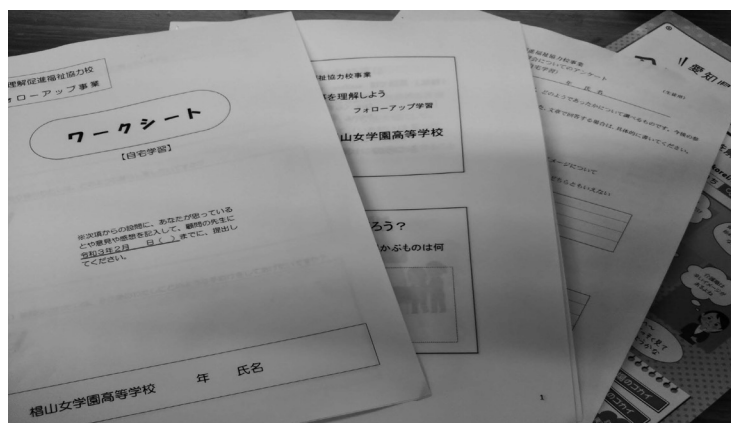
(4) フォローアップ学習会の様子



一色高等学校



稲沢高等学校



椋山女学園高等学校



豊橋商業高等学校



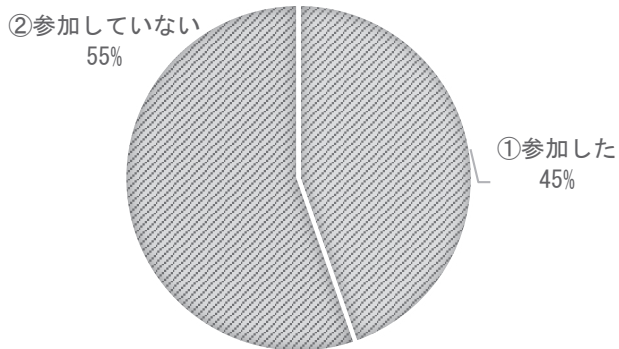
美和高等学校

5 アンケート結果（継続支援校）

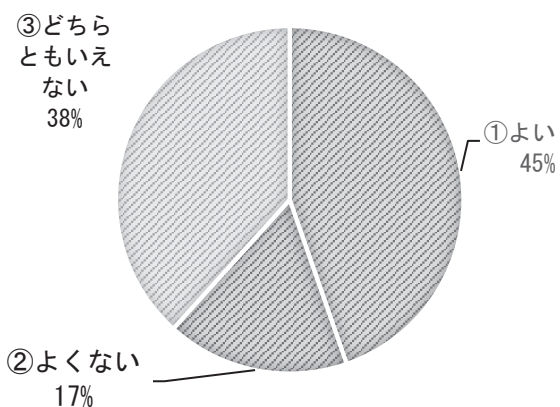
（1） 生徒アンケート結果 回答数5校 47名

《アンケート項目》

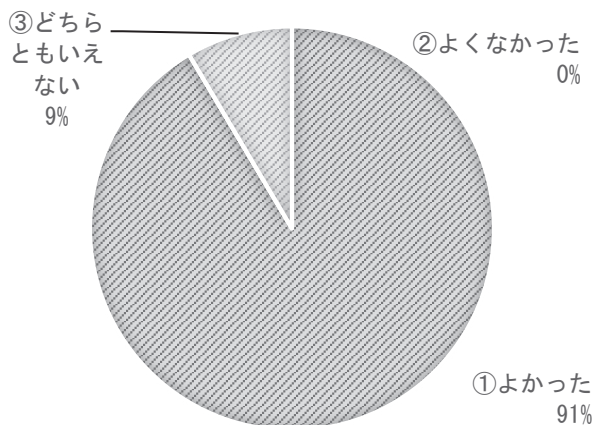
○ 昨年の施設の介護体験に参加しましたか。



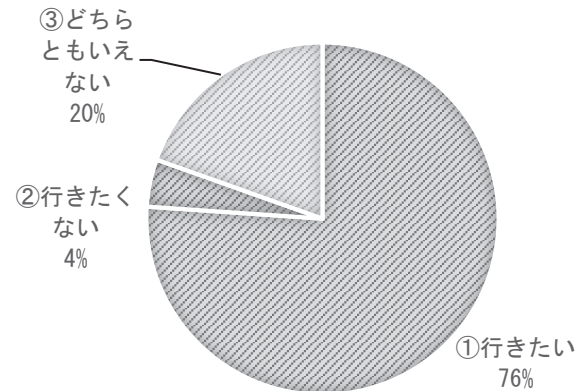
○ 学習会の実施以前に持っていた介護現場のイメージについて。



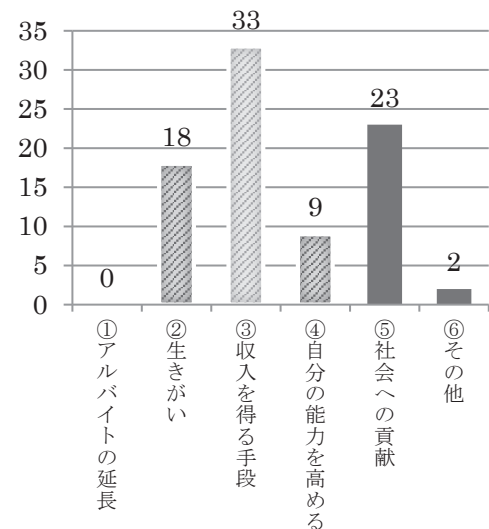
○ 今回の学習会の内容はいかがでしたでしょうか。



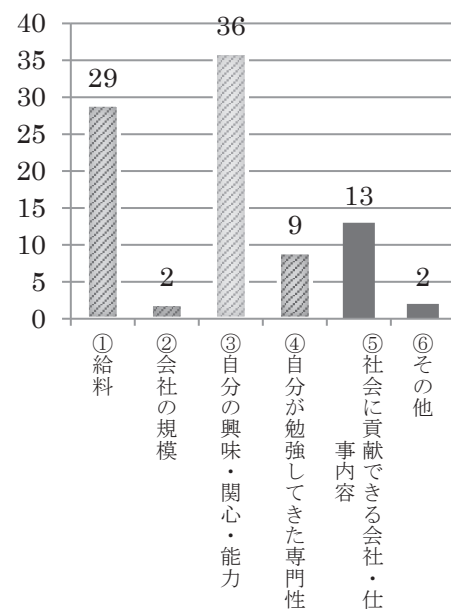
○ 実際に今後、介護施設にボランティアや、実習に行ってみたいと思いませんか。



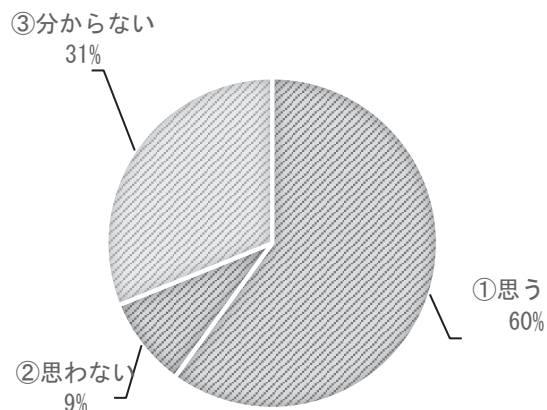
○ 「働く」ということは、ということだと考えますか。（複数回答）



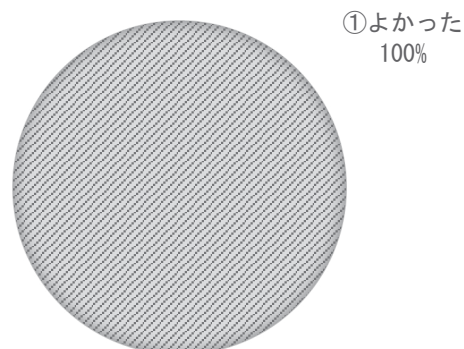
○ 将来において就職先決定に重要なポイントは何ですか。（複数回答）



○ 今回の学習会は自分の進路決定に役に立つと思いますか。



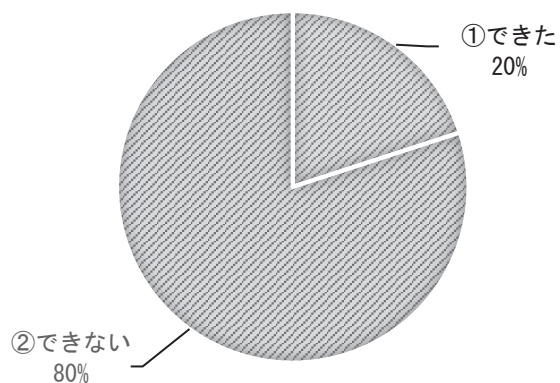
○ 学習会の生徒の取り組む姿勢は、いかがだったでしょうか。



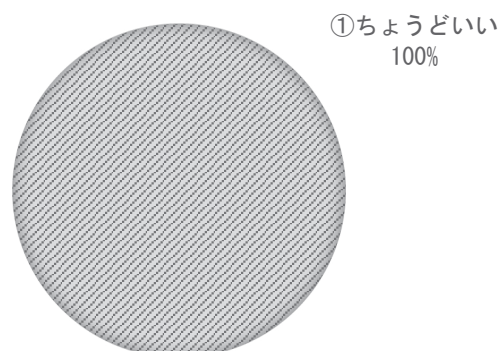
(2) 学校アンケート結果 回答数5校

《アンケート項目》

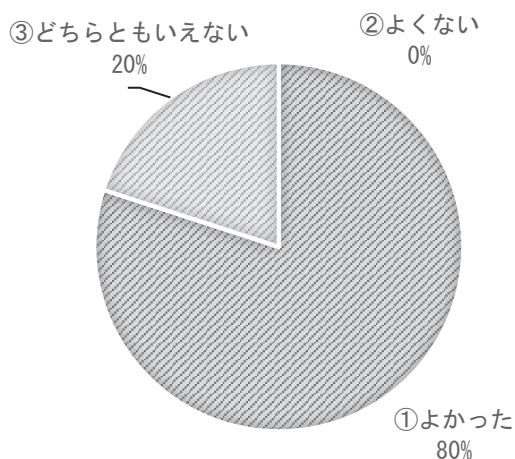
○ 今年度は新型コロナ禍において、ボランティア活動などが実施できましたか。



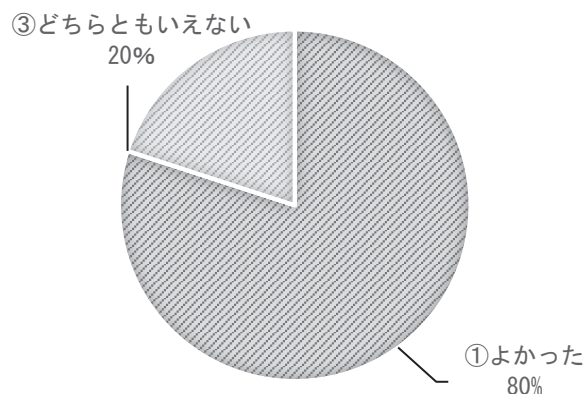
○ 学習会の時間の長さはいかがだったでしょうか



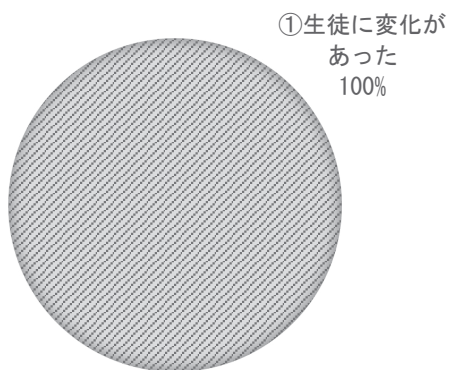
○ この学習会を実施して、全般的にいかがだったでしょうか。



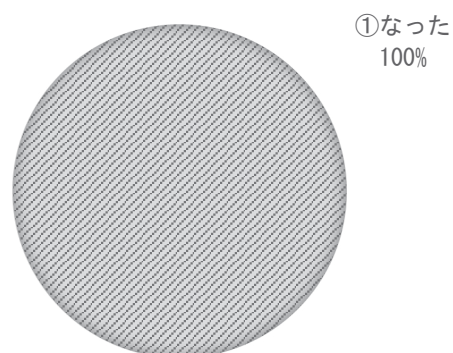
○ 学習会の内容は、いかがだったでしょうか



○ 昨年実施した介護理解促進福祉協力校事業は、生徒に対して福祉・介護就労への理解を促し、関心を高めるきっかけとなったのでしょうか。



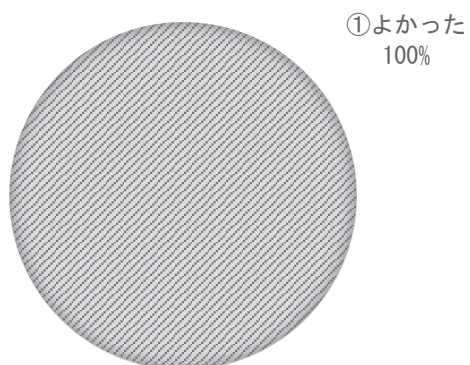
○ フォローアップ学習は、再度生徒に対して福祉・介護就労への理解を促し、関心を高めるきっかけとなったのでしょうか。



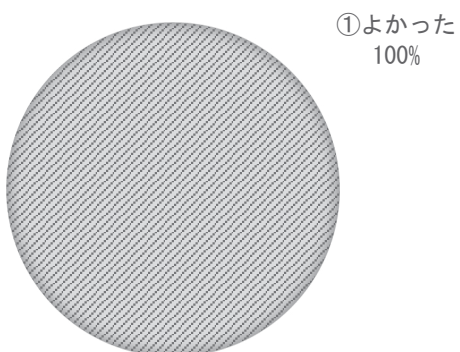
(3) 講師アンケート結果 回答数 3 名

《アンケート項目》

1 フォローアップ学習を実施して、全般的にいかがだったのでしょうか。



○ 生徒の取り組む姿勢はいかがだったでしょうか。



pista.jp - 3037001

6 講師の総評

(1) 介護出前講座について

今年度は、コロナ禍で直接施設に出向き、介護体験ができない状況となりました。介護理解促進協力校事業では、介護の仕事の実際を理解し、介護の仕事の魅力について知っていただくことを目的としていますが、今年度の介護出前講座は、特に、実際の介護現場での具体的な事例を通して理解を深めていただくことを意識しました。

学生さんの感想を眺めてみますと、「大変な仕事」というイメージから、「高齢者の方々から様々なことを教えていただくことができる」、「介護の力で希望や夢を叶えるお手伝いができる素敵な仕事」、「介護職員の関わりにより、身体機能が徐々に良くなるなど、介護ってすごい。やりがいがある仕事」など、イメージが変容していることが読み取れ、嬉しく思いました。「実際に、福祉の仕事に就こうと考えている」「介護の仕事にとっても興味が持てた」という感想もありました。

就労を身近に感じられる高校生に対して、介護の仕事の理解や魅力を伝えることはとても有効であると感じました。

(日本福祉大学 福祉経営学部 非常勤講師 大林由美子氏)

星城高校は学校全体でボランティア活動に熱心であり、生徒たちの福祉に対する意識も非常に高く、前向きな姿勢としっかりとした受け答えがとても印象的でした。

今年度はコロナ禍のため体験学習は実施できませんでしたが、ぜひ介護の現場を体験していただきたいと感じました。

(株式会社経営志援 社会福祉士 塚本聡美氏)

尾西高校は、ボランティア部ということもあり、熱心に取り組んでいました。第3回のグループワークでは多くの意見や感想を出し合い、楽しく終えることができました。

(特定非営利活動法人和来 代表理事 中村直子氏)

(2) 継続支援（フォローアップ学習会）について

今年度は、三密を避けるため、感染症対策を取りながら、「将来就きたいと考えている仕事や夢」、「80歳のわたし（想像して）へのメッセージ」、「こんな社会になったらいいな」からいくつかを選択して、一人ひとりに発表していただきました。

生徒は、「自分の考えや感想をまとめて、他者に伝える力」が身についており、とても感心しました。

学生のアンケートでは、「助け合いができる世の中」、「支え合える、幸せになれる世の中」、「自分とは違う視点から考えた意見を聞き、これらの世の中は、私たちが作っていかねばいけないと感じた」、「将来どの職種についても、相手の気持ちを思いやるという気持ちを持ち、働くことが、自分が成長する要因になる」などの感想に触れ、自分の将来を考える機会を持ち、それを皆と共有することができたことを嬉しく思いました。

(日本福祉大学 福祉経営学部 非常勤講師 大林由美子氏)

昨年度、実際に体験した生徒にもそうでない生徒にも、改めて介護の魅力を伝えました。体験学習後、自分で体験先を探して施設訪問した生徒もあり、熱心な取組に感心しました。

昨今の家庭環境で高齢者と同居する生徒が少なく、高齢者が何に困っているのか？を想像することが難しいことにこちらが気づける良い機会になりました。

(株式会社経営志援 社会福祉士 塚本聡美氏)

7 まとめ

令和2年度事業については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、介護施設における実際の介護体験を行うことができませんでしたが、そうした中にあっても「介護の仕事」の魅力を少しでも生徒に伝えることができるよう、内容に工夫を加え「介護出前講座」という形で実施しました。

生徒に対するアンケートの結果をみると、事業実施前は、介護現場のイメージが「よくない」または「どちらとも言えない」とした割合が合わせて71%であったのに対し、事業実施後は、「よくない」が0%、「どちらとも言えない」が19%と、介護に対する印象や考え方を大幅に改善することができました。

また、感想の中には、「介護の仕事は、大変な中でもやりがいのある仕事だと思った」や、「介護が楽しい仕事と思えるようになった」などの介護職に対する良いイメージが醸成されたことが分かる内容が多くありました。

さらに、今回の「介護出前講座」が自身の今後の進路決定に役立つと思うか、という問いに対しては、「思う」、「少し思う」とした生徒が合わせて94%となり、また、具体的に、「将来は介護福祉士を目指したい」と書き込んでくれた生徒もいました。

こうした結果を見てみますと、「きつい、つらい」などの一面的なマイナスイメージが先行している「介護の仕事」も、実際に介護職員から生の声を聞き、学ぶことにより、「介護の仕事」が本来持つ「やりがい」や、「社会的意義、専門性」、「楽しさ」などの良い面に気付くことで、介護分野への関心を持ってもらうことが可能であるということに改めて気付かされます。

次年度は、新型コロナウイルス感染症に係る状況もありますが、従来の「介護施設での介護体験」や積極的な普及啓発活動を含む実施手法に戻すことを視野に、引き続き、高校生や地域に対し「介護の仕事」の理解が促進されるよう、工夫を加えながら取り組んでいきたいと思います。

令和2年度介護理解促進福祉協力校事業 実施報告書
介護の魅力発見！ 令和3年3月

社会福祉法人 愛知県社会福祉協議会 地域福祉部
〒461-0011 愛知県名古屋市東区白壁1丁目50番地
TEL052(212)5502 FAX 052(212)5503
URL <http://www.aichi-fukushi.or.jp>
E-mail chiiki@aichi-fukushi.or.jp